

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390800205
事業所名	グループホーム たのしい家瑞穂

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2) ・町内会に加入し、回覧板や運営推進会議等で地域情報を得て、ふれあいサロンに作品を展示したり、瑞穂の祭りなど地域行事に参加している。 ・毎月、併設の小規模多機能事業所で行われる認知症カフェや音楽療法、地域ボランティアによる催し物は地域住民参加型を継続している。AED講習会も実施した。 ・事業所の夏祭りは、地域の方々の協力も得て賑わいを見せている。 ・「子ども110番の家」や中学生の体験学習も受け入れ関わりを大切にしている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3) ・運営推進会議は家族や隣人、地域代表、民生委員、地域包括支援センター職員、法人職員が出席し小規模多機能事業所と合同で年6回行われている。 ・身体拘束適正化委員会を同時に行っている。 ・運営状況やサービス内容の報告が行われ、参加者による情報交換や意見交換が行われている。出された意見は、その場で協議したりカンファレンス等で話し合い運営やサービス向上に活かしている。 ・家族の参加を多くするために、開催曜日の検討をしている。 ・議事録は家族に配布している。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4) ・介護保険の代行申請時、相談ごと等で関係窓口を訪れるごとに、事業所の実情を伝えながらアドバイスをを受けたり、情報交換をしている。 ・法令に関する変更事項等の指導を受けたり、行政主催の研修や講演会等に参加して連携し協力関係を築いている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6) ・入居者からは日々のケアの中で触れあいながら、色々な意見や思いを聞き把握するようにしている。家族からは面会時や運営推進会議などで意見や要望を聞いたり、電話でも聞いている。 ・出された意見や要望は記録し、その場で対応したり、カンファレンスや各リダ等で話し合い、運営やサービス向上に反映させている。 ・家族向けのホームだよりを定期的に発行している。ご意見箱を設置している。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) (1) 運営基運第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○